

令和2年度 学校評価一覽

佐野市立北中学校

目標	重点項目	主な具体策 (教師が何をするか)	評価指標 (それにより対象がどうなるか)	評価方法・評価基準	関連 アンケート等	肯定 回答	教職員による自己評価	学校評議員による学校関係者評価
自ら学び考える生徒へ知育V	①学習指導の工夫改善	●学習のめあての明確化と振り返りの実施、板書の工夫やICTの活用等により、分かる授業の展開に努める。	●学習に見通しを立てたり成就感を味わわせたりすることにより、生徒が主体的・意欲的に授業に臨んでいる。	●生徒・保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上	生7No.2 保7No.1	94% 80%	◆学習のめあてや振り返り、板書の工夫、ICTの活用等により、授業が分かりやすいと評価している生徒の割合が高いが、実際は内容を十分に理解できていない生徒が多いのが現状である。分かりやすいだけでなく、確かな学力の定着につながる授業に努めたい。 ◆今年度は保護者に授業を参観していただく機会を1度しか設けられなかったため、無回答(分からない)の割合が多かった。次年度は、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、可能な限り授業参観の機会を設けていきたい。	◆授業参観では、どの生徒も生き生きと授業に取り組む様子が見られた。 ◆再び一斉休校を余儀なくされた場合を見据えて、ICTに関する教員研修(リモート授業等)を充実させ、教材を準備しておくべき。 ◆家庭学習の習慣が身に付いているかについては、生徒と家庭で捉え方が異なっているのではないかと。
	②家庭学習の習慣化	●「家庭学習の手引き」や「あゆみノート」等を活用して、家庭学習の意義や方法を伝え、習慣化を図る。	●主体的に学ぼうとする意欲が高まり、生徒が家庭学習ノートを自主的に提出している。	●家庭学習ノートを提出している生徒の割合 →80%以上の生徒が提出	生7No.5 保7No.2	84% 59%	◆家庭学習の習慣を定着させるために、毎日提出している生徒の割合は80%を超えている。しかし、提出することが目標になっている生徒が多く、自主的な家庭学習の習慣化が十分に図られているとは言えない状況である。そのため、保護者アンケートの結果は低い評価になっている。今後は、定期テストや単元テスト、実力テストに向けて、早い時期からコツコツと取り組むことの大切さを指導し、自主性を高め、習慣化につなげたい。	
素直な心で感謝できる生徒へ德育V	①良い習慣の定着	●全職員共通理解の下身に付けさせたい良い習慣(返事、挨拶、靴揃え、聞く態度、立腰、2分前着席等)について継続的に指導する。	●生徒が、返事、挨拶、靴揃え、聞く態度、立腰、2分前着席等を意識して生活している。	●生徒・保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上	生7No.7 生7No.8 保7No.3	95% 94% 87%	◆生徒対象アンケートでは肯定的な回答が高く、日頃から良い習慣を意識しながら学校生活を送っていることが伺える。しかしながら、挨拶の声が小さい生徒もいるので、明るく元気な挨拶ができるよう継続して指導していきたい。	◆生徒はたいへん落ち着いている。 ◆生徒の安全に対する意識は一般的なものと比べ、甘い傾向が見られる。
	②生命尊重・人権尊重を基盤とした教育実践	●交通事故防止のための指導の充実、不登校生徒への適切な支援、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努める。	●交通事故や不登校生徒が減少するとともにいじめは許さないという意識が生徒に浸透している。	●交通事故件数の増減 →前年度同期より減少 ●不登校生徒数の増減 →前年度同期より減少 ●生徒・保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上	事故の増減 不登校生徒数の増減 生7No.10 保7No.4	+3件 -2人 94% 83%	◆交通ルールを遵守しようとする意識を高めるため、交通安全主任による注意喚起を継続していく。また、今年度実施できなかった「安全教室」を計画する。 ◆不登校生徒一人一人に合わせて個別に支援し、学校とのつながりを断たないようしていきたい。 ◆「生命人権尊重旬間」での取組を継続し、より一層いじめのない学校づくりを目指すとともに、各種たよりを通して、保護者啓発に努めたい。	◆映像資料やスタントマンによる実演を伴う講習が効果的なのではないかと。 ◆ライフルームが適切に運営されており、効果が上がっている。 ◆肯定的な回答の割合の高さより、否定的な回答があることに注視すべき。
心身を鍛え健康な生徒へ体育V	①体力と運動技能の向上	●教科体育において敏捷性等を強化する運動を工夫するとともに、耐性を育む体育的行事の充実に努める。	●生徒が体育の授業に意欲的に取り組むとともに、三彘・唐沢縦走で完歩を目指そうとしている。	●生徒・保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上 ●三彘・唐沢縦走で完歩した生徒の割合 →前年度より増加	生7No.14 保7No.5 完歩率	95% 87% —	◆新体力テストの結果を踏まえ、敏捷性を向上させるために授業前に反復横跳びを授業前に取り入れた結果、平均して約4回記録が伸びている。今後も継続して実施していきたい。 ◆(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は三彘・唐沢縦走を中止した)	◆三彘・唐沢縦走のような伝統的な行事は実施すべき。 ◆食に関する授業を定期的に行っているのは非常によいことである。 ◆他市が実施しているように給食費の無償化ができないものか。
	②食育の推進	●栄養教諭が全学級で食に関する指導を行い望ましい食習慣の育成に努める。	●生徒が成長期に必要な栄養を摂取することの大切さを理解するとともに、給食を残さず食べている。	●生徒・保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上 ●給食(主菜・副菜)の1人当たりの残量 →前年度同期より減少	生7No.12 保7No.6 残量の増減	85% 89% +5.1g	◆栄養教諭による食に関する指導及び保健体育や家庭科での栄養指導を通して、栄養バランスの大切さについてさらに理解を深めさせたい。 ◆給食の時間が足りないことも残量増加の一因になっているため、給食の準備・片付けの指導を徹底し、食事の時間を確保したい。	
信頼される教職員	①一人一人の生徒に寄り添った指導と支援	●教育的愛情をもって生徒に接するとともに生徒の良さを見つけ、「三彘賞」「唐沢賞」を積極的に授与する。	●生徒が教職員に気軽に相談するとともに、一人一人を褒めて・伸ばすことにより生徒の自尊感情が高まっている。	●生徒対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上	生7No.16 生7No.17 生7No.18	89% 95% 87%	◆生徒対象アンケートの結果では、全ての項目が90%以上になるまでに至っていないが、感染症対策の制限により生徒の活躍の場が減少した中でも、担任との信頼関係が比較的高く、概ね共感的な人間関係が育まれていると考えられる。今後も生徒一人一人の良さを認め、賞賛し、自己肯定感の高揚に努めたい。 ◆「毎日学校に来ることが楽しい」への肯定的な回答が89%に留まったことを真摯に受け止め、生徒たちが「今日も学校が楽しかった」と感じられるよう教育活動の充実に努めたい。	◆教師との信頼関係が出来ていることが伺える。 ◆「学校が楽しい」という回答が89%は素晴らしいと思う。 ◆学校で最も重要なのは教師であることを自覚し、謙虚でなければならない。「教育は人なり」 ◆教師と生徒が仲良くなりすぎる場合があるが、言葉遣いや接し方等、教師は威厳をもたなければならない。
	②教職員の職務の厳正と保護者との連携	●職務に対する使命感と誇りをもち、必要に応じてこまめに連絡をとるなどして保護者との連携に努める。	●保護者が我が子を安心して学校に通わせている。	●保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上	保7No.7 保7No.8 保7No.9	88% 83% 90%	◆保護者対象アンケートの結果では、全ての項目が評価基準の90%以上になるまでに至っていない。今後は更に家庭との連絡を密にし、真摯な姿勢で保護者との連携に努めていきたい。	
家庭・地域・小中学校との連携	①開かれた学校づくりの推進	●保護者や地域住民等に対して、各種たよりや学校Webサイト等を通して、学校の様子を積極的に情報発信をする。	●保護者が学校教育活動に関心と理解を示している。	●学校Webサイトの更新状況 →毎日記事を掲載 ●保護者対象アンケートの結果 →肯定的な回答が90%以上	更新状況 保7No.10	374件 12月末 91%	◆保護者対象アンケートでは肯定的な回答が90%以上であり、休日を含め、ほぼ毎日記事を掲載することができた。しかしながら、学年によって偏りがあるので、各学年の掲載数を増やし、学校生活の様子を知ってもらえるよう努めたい。	◆HPはよく更新されており、学校の様子が分かってよい。 ◆1つの町内から複数の中学校に進学している状況を踏まえると、中学校と地域とのつながりが薄くなるのは仕方がないのではないかと。
	②小中一貫教育の推進	●小中一貫教育佐野北推進ブロックの各部会で定めた取組を実施する。	●小学校から中学校への円滑な接続が図られ、系統性のある学習指導と生徒指導が展開されている。	●ノーメディアデーを実践した生徒の割合 →肯定的な回答が80%以上	実践生徒	82%	◆学習委員会の取組として、ノーメディアデーの働きかけを行えるよう指導し、生徒主体の実践となるよう工夫したい。	◆小学校教諭が、中学校の授業を参観する機会をもつとよいのではないかと。 ◆何らかの形で学校公開ができないものか。